

平成30年度甲府市介護保険をよくする会 学習会

～本人が望む最期をどう支えるか～

平成30年9月吉日

甲府市介護保険をよくする会

代表 保坂 勢津子

2014年の「新語・流行語大賞」にもノミネートされた「2025年問題」。医療界ではここ数年、当たり前のように語られていますが、一般の間でも広く注目され、団塊世代が一齐に75歳以上の後期高齢者に突入し、医療と介護の両方を必要とする人が急増することが予想されます。

一方、「多死社会」の到来とも言われ、現在約120万人の年間死亡者数が2025年には約160万人と予想され、死に場所として在宅医療を選択する可能性がある現実もあります。さらに深刻なのは、「死に場所」です。医療機関が増えるか、介護施設が増えるか、或は在宅医療の環境整備が整わないことにはならななければ、どこを死に場所としたらいいのか分からない「難民の増加」が見込まれます。

今回の学習会では、日頃こうした現実直面している専門職の方々をお招きして、実情や今後の対応についてどうあるべきか、コーディネーターを交えてお話しして頂きます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時 平成30年10月13日（土）
- 受付 13：30～
- 開始 14：00～（終了は16：00を予定）
- 内容 本人が望む最期をどう支えるか

■ シンポジスト

おさだクリニック様
和告福祉会様
看護小規模多機能型いけだ様
訪問看護ステーションすずかけ様



- コーディネーター
高山 理恵 氏

- 場所 甲府市中央公民館（2階多目的室）
甲府市丸の内三丁目26-16
- 主催 甲府市介護保険をよくする会

ホームページ <http://kofu-yokusurukai.com/>

電話 080-2552-2224

協賛企業様（順不同・敬称略）